

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

第284号

平成28年8月17日発行
病原体検出は平成28年6月分

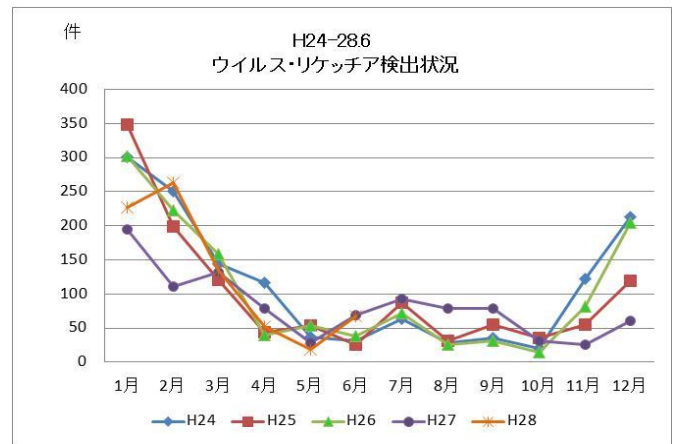
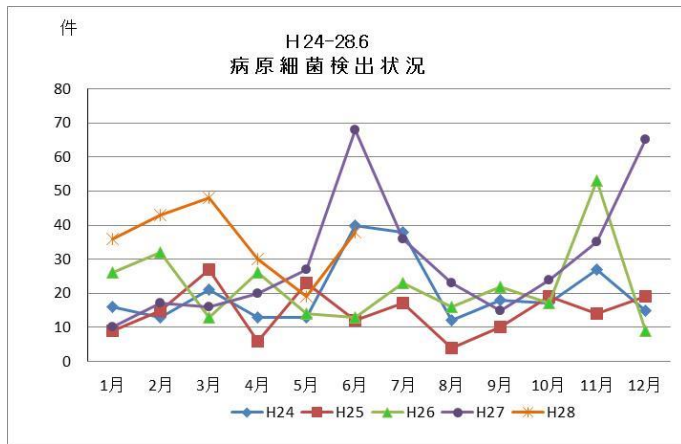
表1 病原体検出状況(保健所等別)―平成28年6月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査										病原体定点				その他の医療機関	合計		
	平塚保健福祉事務所 秦野センター	平塚保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所	三崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	茅ヶ崎保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	計	小児科	インフルエンザ			眼科	基幹
病原細菌	腸管出血性大腸菌 (EHEC)				2					1	1	4					4	
	腸管病原性大腸菌 (EPEC)												1				1	
	その他の大腸菌※												1				1	
	エロモナス ハイドロフィラ												1				1	
	カンピロバクター ジェジュニ	9										9					9	
	黄色ブドウ球菌			1									1					1
	A群溶血レンサ球菌												9					9
	エンテロкокカス フェシエイム									2		2						2
	淋菌									1		1						1
	クラミジア トラコマティス									1		1						1
	マイコプラズマ ニューモニエ												6				1	7
	その他の細菌									1		1						1
計	9		1	2					6	1	19	18				1	38	
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ B											1					1	
	コクサッキー A4											4					4	
	コクサッキー A10											1					1	
	コクサッキー B5									3	3						3	
	バレコ 3							8			8						8	
	ライノ											2					2	
	ムンプス											2					2	
	アデノ 1											1					1	
	アデノ 2											3					3	
	アデノ 3											2					2	
	アデノ 41											1					1	
	ヒトヘルペス 7							1			1						1	
	ノロ	22						10	3			35	2					37
	サポ											1						1
計	22						19	3	3	47	20						67	
合計	31		1	2			19	3	6	4	66	38				1	105	

※ : EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌 (病原性不明なもの)

<検出状況>

○ 6月の病原体検出数は合計 105 件、細菌は 38 件、ウイルス・リケッチアは 67 件であった。



○ 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が 18 件、ウイルスが 20 件、その他の医療機関から細菌が 1 件検出された。

○ 保健所管内別の病原体検出状況は表 1 のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)—平成 28 年 6 月

	感 染 症														（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様 ）	（依 保 菌 頼 者 ） 検 査 ）	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	バ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数	4				37	12	12	8					1		3	66	1872	2015
腸管出血性大腸菌(EHEC)					4													4
腸管病原性大腸菌 (EPEC)							1											1
その他の大腸菌※							1											1
エロモナス ハイドロフィラ							1											1
カンピロバクター ジェジュニ																9		9
黄色ブドウ球菌																1		1
A群溶血レンサ球菌						9												9
エンテロコッカス フェシウム															2			2
マイコプラズマ ニューモニエ								7										7
淋 菌																		1
クラミジア トラコマティス																		1
その他の細菌															1			1
計					4	9	3	7							3	10	2	38

※： EHEC(VTEC)・EPEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で、37 検体中 2 検体から腸管出血性大腸菌 O157（VT1&VT2）が、2 検体から腸管出血性大腸菌 O121（VT1）が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 12 検体中 9 検体から、A 群溶血性レンサ球菌が分離培養によって検出された。血清型は、T1 が 4 検体、T4 が 1 検体、T28 が 1 検体、TB3264 が 2 検体および UT が 1 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 12 検体中 3 検体から病原細菌が検出された。その内訳は腸管病原性大腸菌（血清型 O119 *eae+*）が 1 検体、その他の大腸菌（血清型 OUT *afa+*）が 1 検体、エロモナス ハイドロフィラが 1 検体であった。
- マイコプラズマ肺炎患者 8 検体中 7 検体からマイコプラズマ ニューモニエが PCR と分離培養によって検出された。
- その他の感染症では、バンコマイシン耐性腸球菌感染症患者からバンコマイシン耐性エンテロコッカス フェシウム遺伝子型（VanA）が 2 検体、バンコマイシン耐性エンテロコッカス ラファイノーサス遺伝子型（VanA）が 1 検体検出された。
- 食中毒様事例では、66 検体中 9 検体（患者 7 名、従事者 2 名）からカンピロバクター ジェジュニが、1 検体（従事者 1 名）から黄色ブドウ球菌が検出された。
- 依頼検査では、1872 検体中 1 検体から淋菌が、1 検体からクラミジア トラコマティスが検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)—平成27年6月～平成28年6月

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平成28年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	7	9		3				20		2		2		4	8
腸管病原性大腸菌(EPEC)										2				1	3
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)	1							2							
その他の大腸菌 ※	4	2	1	2		4	7	26	1	1	2	1		1	6
サルモネラ O4群	3	3						7		1	1	1			3
サルモネラ O7群	1				1			7							
サルモネラ O8群				1				1			1	1	1		3
エロモナス ハイドロフィラ	1							1						1	1
カンピロバクター ジェジュニ	8	1	8	2	1		1	25	4		5	7	2	9	27
カンピロバクター コリ								2					1		1
黄色ブドウ球菌	9	2	3	1				16	1	1				1	3
ウエルシュ菌	10							11			1				1
セレウス菌	1		1					2							
A群溶血レンサ球菌	15	11	5		4	8	18	125	7	8	12	12	10	9	58
エンテロкокカス フェシウム		4				12	30	46	17	27	22	2		2	70
百日咳菌									1						1
淋菌														1	1
クラミジア トラコマティス													1	1	2
肺炎球菌										1			3		4
マイコプラズマ ニューモニエ	3	4	3	4	17	9	7	49	4		1	4		7	16
レジオネラ ニューモフィラ	5		2	2	1	2	2	16	1		3		1		5
その他の細菌													1	1	2
合計	68	36	23	15	24	35	65	356	36	43	48	30	20	38	215

※:その他の大腸菌 : EHEC(VTEC)・EPEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌 (病原性不明なもの)

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)—平成 28 年 6 月

	感 染 症																食 中 毒 (有 症 苦 情 含 む 様 子)	合 計	
	ウ エ ス ト ナ イ ル 熱	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	急 性 脳 炎	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	風 し ん	ヘル パン ギー ナ	麻 し ん	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ 様	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎			そ の 他
検査検体数			1		1		9	18	1		7	12	4	1		3	8	69	134
インフルエンザ B														1					1
コクサッキー A4											4								4
コクサッキー A10											1								1
コクサッキー B5																3			3
パレコ 3																	8		8
ライノ									1				1						2
ムンプス													2						2
アデノ 1							1												1
アデノ 2							3												3
アデノ 3							2												2
アデノ 41								1											1
ヒトヘルペス 7																	1		1
ノロ								7										30	37
サポ								1											1
計							6	9	1		5		3	1		3	9	30	67

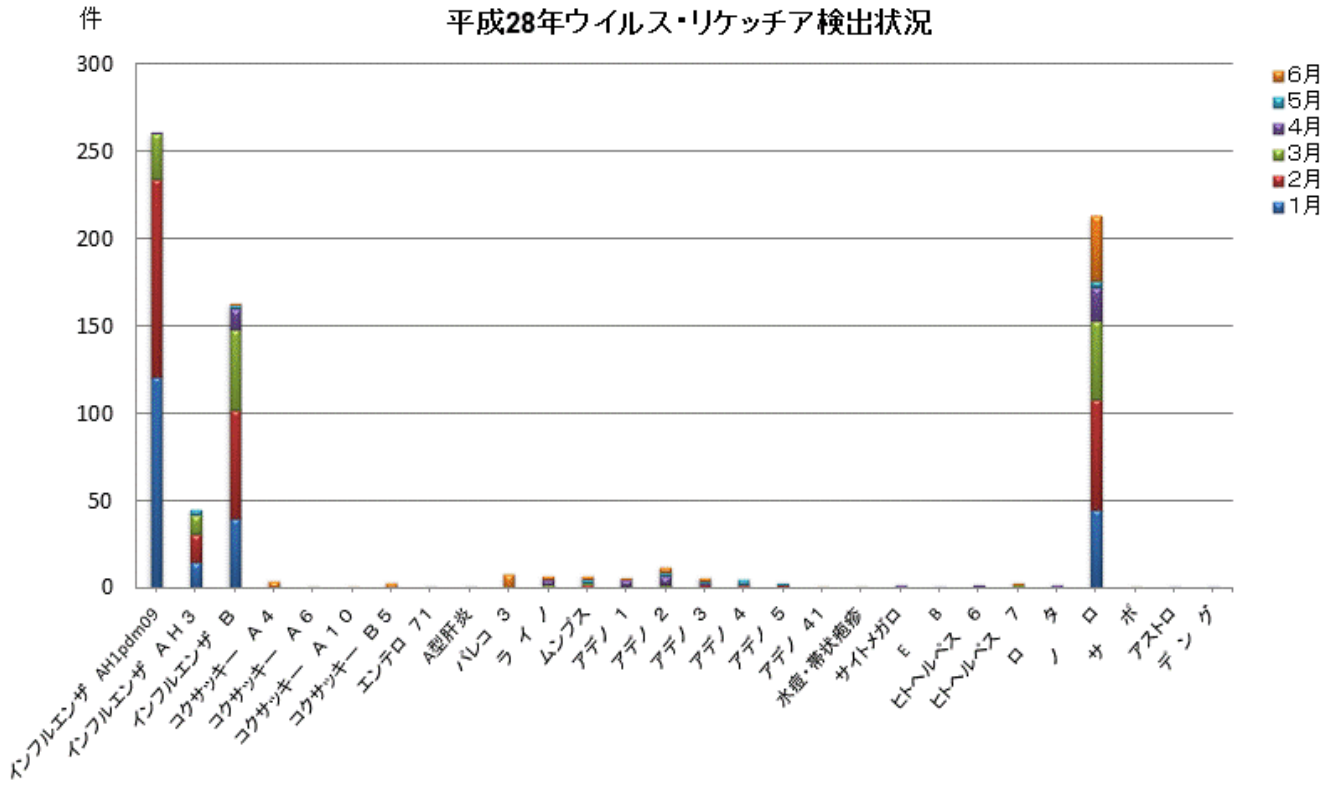
- 咽頭結膜熱患者 9 例中 6 例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス 1 型が 1 例、アデノウイルス 2 型が 3 例、アデノウイルス 3 型が 2 例であった。
- 感染性胃腸炎患者 12 検体中 4 例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳は、ノロウイルスが 2 例、サポウイルスが 1 例、アデノウイルス 41 型が 1 例であった。また、集団感染性胃腸炎調査では、6 例中 5 例からノロウイルスが検出された。
- 手足口病患者 1 例からライノウイルスが検出された。
- ヘルパンギーナ患者 7 例中 5 例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルス A4 型が 4 例、コクサッキーウイルス A10 型が 1 例であった。
- 流行性耳下腺炎患者 4 例中 3 例からウイルスが検出された。その内訳は、ライノウイルスが 1 例、ムンプスウイルスが 2 例であった。
- インフルエンザ様患者 1 例からインフルエンザウイルス B 型が検出された。
- 無菌性髄膜炎患者 1 例 (3 検体) からコクサッキーウイルス B5 型が検出された。
- ウイルス性筋炎患者 4 例 (8 検体) からヒトパレコウイルス 3 型が検出された。うち、1 例の咽頭ぬぐい液からはヒトヘルペスウイルス 7 が同時検出された。
- 食中毒用胃腸炎調査では、便 69 検体について検査を実施したところ、30 検体からノロウイルスが検出された。

表 5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成27年 6月～平成28年 6月

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平成28年累計
インフルエンザ AH1pdm09					6	3	12	27	121	113	26	1			261
インフルエンザ AH3	1	2	1	9		1	3	205	15	16	11		3		45
インフルエンザ B			3		2		1	61	40	62	46	12	2	1	163
R S					1	1	3	6							
コクサッキー A2				2	1			3							
コクサッキー A4								1						4	4
コクサッキー A5		1			1			2							
コクサッキー A6	2	21	14	22	4	3	1	67			1				1
コクサッキー A9	3	12	1	3				25							
コクサッキー A10	1	1	1	4	3			10						1	1
コクサッキー A14	1	1						2							
コクサッキー A16	13	12	20	8	4			66							
コクサッキー B3		1				1		2							
コクサッキー B4				1				1							
コクサッキー B5							1	1						3	3
エコー 16	2							2							
エコー 18			1	1				2							
エンテロ 68				2	1			3							
エンテロ 71												1			1
A型肝炎												1(1)			1(1)
パレコ 1				1				1							
パレコ 3														8	8
パレコ 6					2	1		3							
ライノ	1	3			2			9			2	3		2	7
ムンプス		1	1					3		2	1		2	2	7
麻疹	2							11							
アデノ 1	2							5	1			4		1	6
アデノ 2	1	1	1	1	1		1	18		1	1	5	2	3	12
アデノ 3	10	10	16	1		2	3	53	1	1		1	1	2	6
アデノ 4	2	2						4		2			3		5
アデノ 5				1			1	2	1	1			1		3
アデノ 19		1						1							
アデノ 37								2							
アデノ 41														1	1
アデノ(型未決定)								1							
単純ヘルペス 1	2	1						3							
水痘・帯状疱疹				1			1	2		1					1
サイトメガロ		1						1				2			2
E B				1				2	1						1
ヒトヘルペス 6	1	1		2				6		1		1			2
ヒトヘルペス 7		1		3	3	1		8	1		1			1	3
バルボ B19								1							
ロ タ							1	1				2			2
ノ ロ	17	19	17	10	4	10	29	326	45	63	45	19	4	37	213
サ ボ	6						3	13						1	1
アストロ	2							5	1						1
デング			2 (2)	2 (2)				9 (9)					1 (1)		1 (1)
オリエンチア ツツガムシ						2		2							
合 計	69	92	78 (2)	75 (2)	35	25	60	978(9)	227	263	134	52 (1)	19 (1)	67	762(2)

海外渡航者数は(内数)として記載

平成28年ウイルス・リケッチア検出状況



平成27年ウイルス・リケッチア検出状況

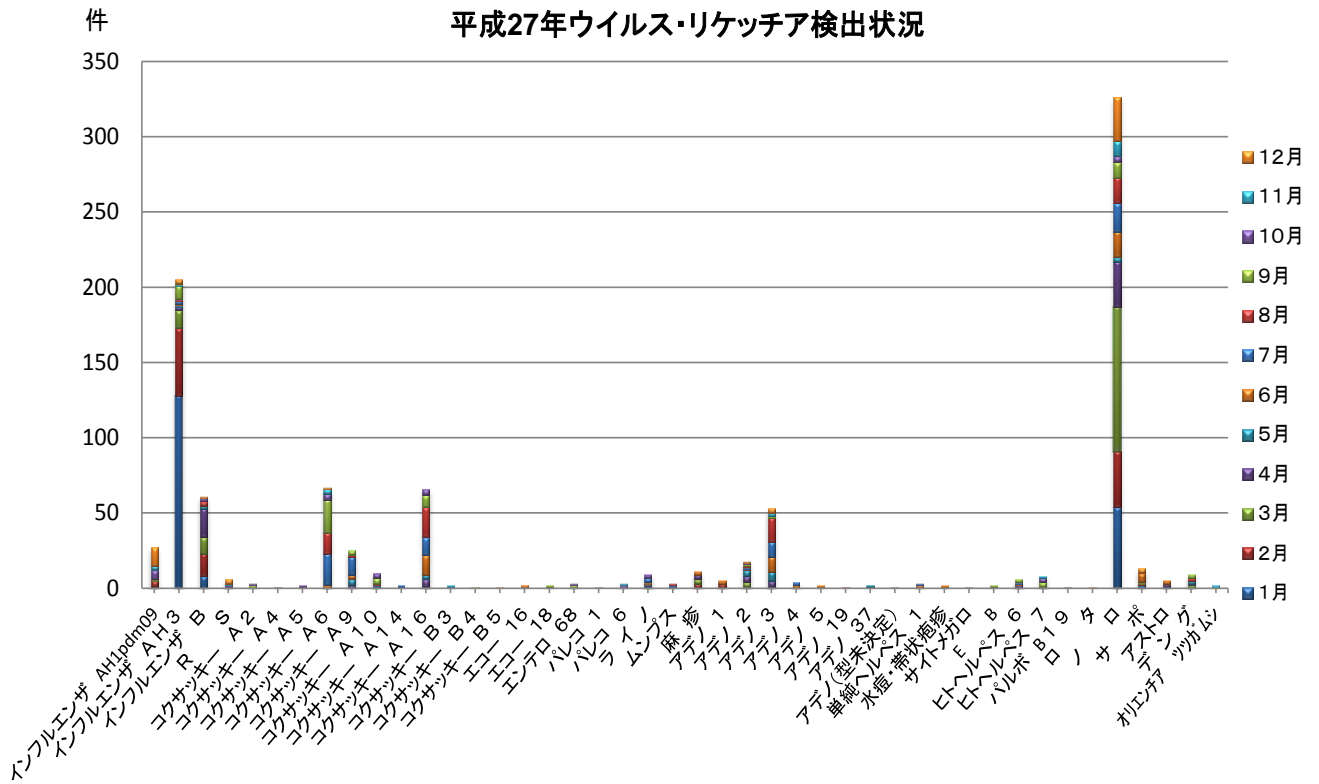


表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 28 年 6 月

	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	6月			1~6月累計			6月				1~6月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他
検 査 検 体 数	7	229	16	56	340	42		49	16	20	43	107	107	69
その他の大腸菌 ※2		1			1									4
レジオネラ ニューモフィラ 1群							1					1		
レジオネラ ニューモフィラ 3群												3		
レジオネラ ニューモフィラ 5群							1					1		
レジオネラ ニューモフィラ 6群							4					5		
レジオネラ ニューモフィラ 9群												1		
検 出 菌 計		1			1			6				11		4

※：河川水を含む。

※2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EA_{gg}EC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 収去検査 229 検体中 1 検体からその他の大腸菌が検出された。
- 環境由来の浴槽水 49 検体中 6 検体からレジオネラ ニューモフィラが検出された。血清型は、1 群が 1 検体、5 群が 1 検体、6 群が 4 検体であった。